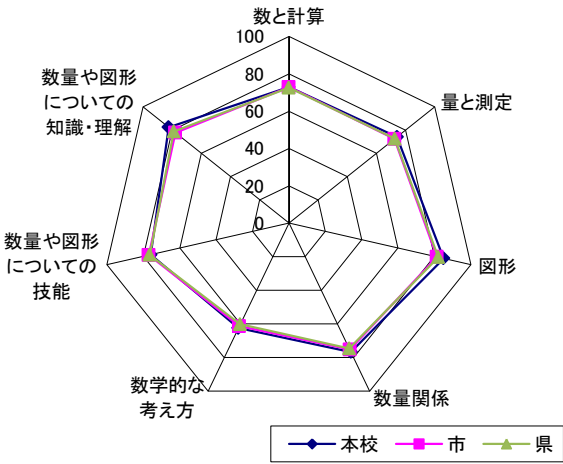


宇都宮市立横川西小学校 第4学年【算数】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	数と計算	72.9	72.9	72.6
	量と測定	74.1	72.4	72.6
	図形	85.0	81.4	82.1
	数量関係	76.6	75.2	74.6
観点	数学的な考え方	62.3	61.3	60.2
	数量や図形についての技能	76.0	77.0	76.5
	数量や図形についての知識・理解	82.4	77.8	78.8



★指導の工夫と改善 ○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	○加減乗除に関する問題の平均正答率は72.9%で、市の平均正答率と同率であった。 ●繰り下がりのある4位数の計算、整数から小数を引く計算、考え方を説明する設問の正答率は、低い。	・問題点を把握し、家庭学習やミニテストなどの継続学習を続けることで、基礎的な学習の定着を図っていく。 ・()を用いて1つの式を表した計算の仕方を説明する活動では、図・数直線・言葉・式などを用いるとより分かりやすいことが実感できる機会を、さらに増やしていきたい。
量と測定	○時刻と時間や長さに関する問題の平均正答率は74.1%で、市の平均正答率を1.7ポイント上回った。	・基礎的な学習の定着を図るために、生活と結び付けたり類似問題に取り組ませたり、家庭学習に計画的に取り組ませたりするなどしたして、より定着を図らせていきたい。
図形	○円と球・三角形に関する問題の平均正答率は85%で、市の平均正答率より3.6ポイント上回った。	・操作活動を取り入れながら、知識や技能を身に付けさせるとともに、直感的な見方・考え方を深める機会を増やしていきたい。
数量関係	○棒グラフに関する問題の平均正答率は76.6%で、市の平均正答率を1.6ポイント上回っている。	・文章問題を正しく理解できるように、言葉・数・式・図・表・グラフ・数直線などを用いて考えたり説明したりする学習を多く取り入れ、文意をイメージしたり表現したりする力を育てたい。